東部地域みどりの再生事業

- “杜の都”仙台の東部地域には防風・防砂のための藩政期以来の海岸林や憩いの場としての海岸公園とそのみどり、農村に暮らす方々の屋敷林・居久根など、私たちの暮らしに必要不可欠な多様なみどりがありましたが、2011年3月に発生した東日本大震災の津波により仙台東部地域のみどりは失われてしまいました。
- 「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」は、これらの東部地域一帯のみどりを、市民ひとりひとりの「ふるさとの杜」と捉え、再生に取り組んでいくプロジェクトとして2014年からスタートしました。30年かけて植え育て、震災の教訓・記憶・復興の記録として、また、みどりの財産として様々な立場の人々の協働により次代につないでいく息の長い震災復興のメモリアル事業です。



企業との共同植樹会



企業との育樹会



小学生との苗木づくり

企業の皆様へのメッセージ

「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」では、これまで約3,630名の参加を得て、約28,350本を植樹してきました。今後は植えた木を大きく育てる「育樹」を行いながら、プロジェクトを広め、杜づくりを通して震災の記憶と復興の過程を後世に伝えていくために、未来を担う子どもたちと進めます。
また、ふるさとの杜を活用した環境学習や自然体験活動を通して、より豊かな暮らしと憩いを目指します。
「ふるさとの杜」は「あなたの杜」です。一緒に東部地域のみどりの再生に取り組みませんか？

担当： 建設局 百年の杜推進課　TEL022-214-8392